



外国人川柳

にほん
ご・しちご



2

日本で生活していて

感じていること、思っていることを

外国人のみなさんが川柳にして

詠んでくれました

 文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

**RADIO
BERRY**
76.4FM


きぼう
- KIHOU -

海外技能実習生日本語教育機関

株式会社きぼう国際外語学院

まえがき

平成 24 年度より「やさしい日本語」をテーマに文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託し、6 年の歳月が経過しました。

外国人と日本人が互いに「気持ちよく」生活するための手段である「やさしい日本語」を活用することを目的した本取組。その「やさしい日本語」を知ってもらうために「やさしい日本語地域ニュース」という外国人向けの番組がスタートしました。

しかし、真に「やさしい日本語」を学ぶべきは日本人であることに気づき、日本人向けの番組に軌道修正する必要がありました。外国人の疑問に答えながら、難解な日本語を「やさしい日本語」に変換するお手本を示すスタイルに変更したのが「やさしい日本語で教えて!」「やさしい日本語相談課」です。

やがて「やさしい日本語」という言葉のツールを学ぶより先に、受け入れ側である日本人がすべき課題が浮かび上がったのです。その課題とは、まず日本人が「外国人を知る」「異文化を理解する」ことに他なりませんでした。そこで、隣に住む外国人のことを楽しみながら理解してもらおうと『にほんご・しち・ご』という番組を 27 年度からスタートさせ、地域に住むたくさんの外国の皆様に出演してもらいました。

この冊子は、その番組の内容を凝縮したものです。
ぜひ「楽しんで」読んでください。

この冊子を読まれた方と近くの外国人の方の距離が、少しでも縮まりますように！

働きぼう国際外語学院 地域日本語教育コーディネーター

栗又 由利子

本取組のあゆみ

平成 24 年度「やさしい日本語地域ニュース」

外国人が選んだもっと知りたいという新聞記事（ノロウイルス感染、地域のイベント等）を日本語教師が「やさしい日本語」に書き換え、レディオバリーのアナウンサーの方に読んでいただきました。（毎週土曜日放送 3 分間）

平成 25 年度「やさしい日本語で教えて!」

外国人の知りたいこと（栃木県の観光、葬儀等）を、外国人、専門家、日本語教師でその知りたいことを勉強していく番組。
（月 1 回放送 10 分間）



平成 26 年度「やさしい日本語相談課」

外国人が生活の中で、難しいと思っている言葉や、疑問に思っていること（健康診断、就職活動等）を架空の相談窓口で相談にきて解決を図るという番組。
外国人 2 名、日本語教師 1 名出演。テーマは月ごと。
（毎週木曜日放送 3 分間）



平成 27～29 年度「にほんご・しち・ご」

日本に住んでいる外国人の方が、日本に住んでいて感じたことを「ご・しち・ご」の川柳として読んでいただき、その背景をご本人に紹介してもらう番組。
（毎週木曜日放送 3 分間）

2017年8月放送分

としのいみ
ただかおのせん
ふえるだけ

ニックさん イギリス



栃木在住10年のニックさんは、「外国人」であることと「日本語が分からない」はイコールでは結べないと言っています。同じように、年だからといってあれも無理これも無理と自ら可能性を狭める必要はないと、エールを送ってくれました。

外国人とか、日本人とか、若いとか、年を取っているとか、関係ないということがよくわかりました。道に迷ったら、隣にいる外国人に道をきいてみる。そんなまちづくりができるといいですね。



玉ねぎが大の苦手のマリセルさん。大好きなイカリリングだと思って食べたものだからショックも2倍。オニオンリングはフィリピンにはないので無警戒だったそうです。

フィリピンはご飯も食べるし、同じアジアということもあり、とても近いように感じますが、小さな違いがたくさんあるようです。そういった違いを、隣の外国人の方と話して楽しんでみてはいかがでしょうか。

イカリリング
かじってみたら
オニオンだ

長濱マリセルさん フィリピン

イカリリング
かじってみたら
オニオンだ

色々な人に支えられ「幸せ」を感じていた来日当初の近藤さん。5年経った今、立場は支える側になったけれどやっぱり「幸せ」を感じるそうです。

人の役に立って幸せを感じるのは、どこの国も同じです。同じ地域に住む住人として、隣の外国の方とも関わっていきたいと思います。

ボランティア
えがおひとつで
しあわせに

近藤ボアさん カンボジア

ボランティア
えがおひとつで
しあわせに

技能実習生として来日しているティエンさん。年上の新人さんに教える立場になり、戸惑ったそうです。

日本では当たり前だと思っていることも、実は日本独自の文化だったりします。近くの外国人とちょっとした話題をきっかけに話してみてはいかがでしょうか。

とししたも
さきにはいれば
せんばいだ

ティエンさん ベトナム



ハンカチを持ち歩くのは小学生まで、というベトナムから来たイエンさん。ハンカチからティッシュ。大人の階段も国によって様々ですね。

日本では、子供から大人まで当たり前持っているハンカチですが、ベトナムや他の国の人から見たら面白い文化のようです。そんな文化の違いを楽しめるといいですね。

にほんじん
だれでもハンカチ
もってます

イエンさん ベトナム

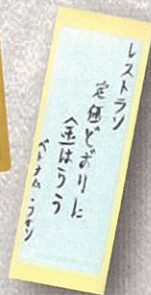
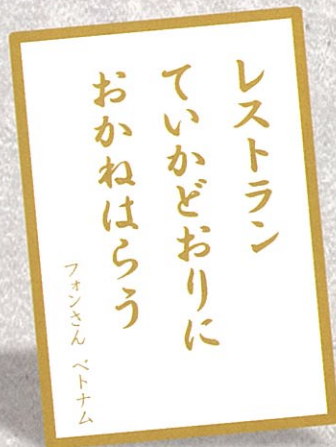
日本人ハンカチ
持ってます



2017年9月放送分

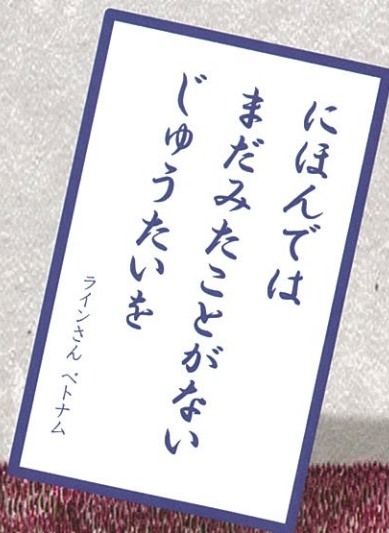
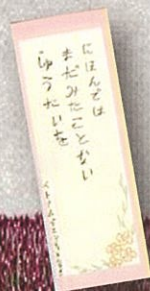
海外でチップ文化があることに戸惑う日本人。
同様に、チップを受け取らない日本人に戸惑う外国の方もいるようです。
ちなみに、ベトナムではおしぼりやお冷は有料なのでご注意ください。

レストランの文化は、国によって違うことは有名ですね。
でも、やはり初めは戸惑ってしまいます。
近くの外国の方が困っていたら、是非声をかけてみてください。



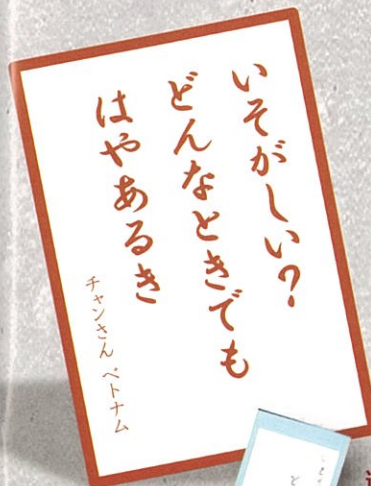
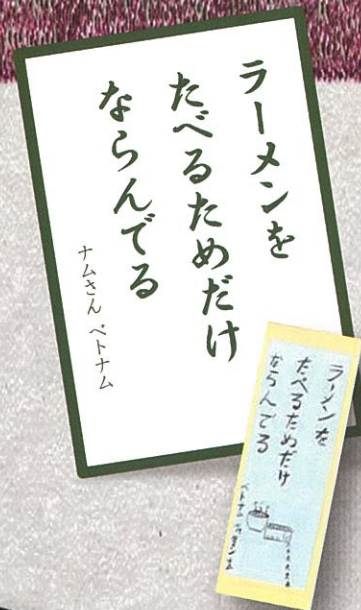
見渡す限りバイク・バイク・バイクのベトナムの通勤風景。
ベトナムでは日常だった渋滞も鹿沼では非日常。
もしかしたら、都市部の満員電車で懐かしさを感じたりして。

交通事情は、お国によって随分違うようです。
渋滞も、その国の風景・景色の一部かもしれませんね。
そんなお国の事情を近くの外国人に聞いてみたら
面白いかもしれません。



行列を見てびっくりのナムさん。
他にも、電車の中で小声で話す日本人にびっくり。
法律ではないけれど皆が守っている「約束事」ってありますよね。

もし、外国の方が何か違ったことをしていたとしたら、
その方はそのルールや習慣を知らないだけなのかもしれませぬ。
ちょっと声を掛けてみてもいいかもしれませんね。



「日本人は時間に厳しい」と聞いていたチャンさん。
早足な日本人の理由を、時間を守るためだと推測。
もし、「日本人は健康に気を使う」と聞いていたら、
長生きするために早歩きと考えたかもしれませんね。

外国人の方が日本に来てみて、国で聞いていたイメージと
違うことがあったり、初めて体験することなど沢山あるようです。
外国に行くのは難しくても、近くの外国人の方から、
その国のことを聞いたり文化を体験してみたりすると、
意外なことがあるかもしれません。

2017年10月放送分

インドネシアでエアコンといえば冷房のこと。

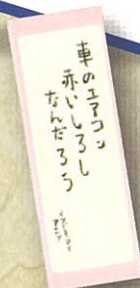
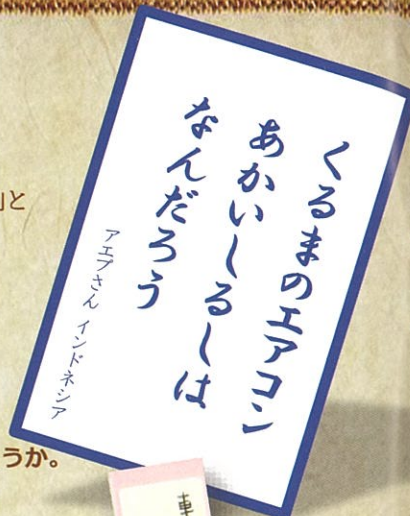
寒い冬の日に来日し、凍える車の中で「エアコンつけようか？」と言われたお友達の心中やいかに！？

国が違えば気候も違いますね。

気候が違えば、日本で当たり前と思っていることも

当たり前ではなくなります。

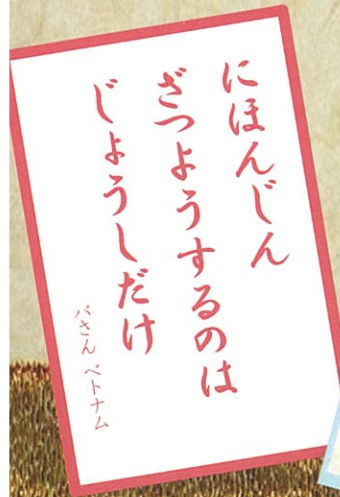
そんな違いを近く of 外国人の方と楽しんでみてはいかがでしょうか。



技能実習生のバさんは、修理やゴミ出しをする上司の姿に驚愕。
ベトナムでは上司の仕事といえば専ら監督業なんだとか。
日本人が仕事の時間にきちんと仕事をしていることにも驚いた、
という感想に「え？」と思う日本人は多いのでは？

国が違うと、働き方も違うようです。

働き方だけではなく、どちらがいいとか悪いとかではなく、
その違いを理解して一緒に働いて暮らしていきたいですね。



日本には自動販売機がたくさんある！

しかも、硬貨が使える！

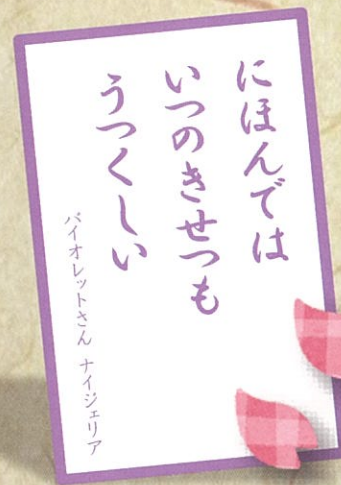
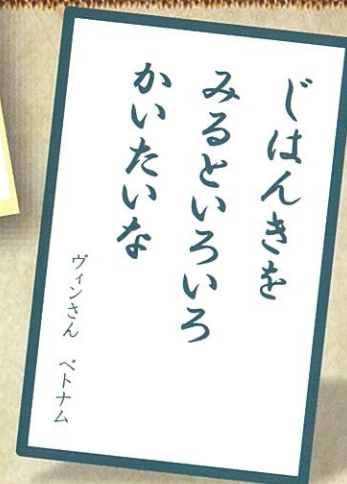
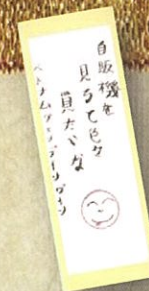
さらに、お釣りも出てくる！

と、日本の自販機に購買意欲をくすぐられまくりの
ヴィンさんでした。

日本にしかないものや、

反対に日本にはないものがありますね。

近く of 外国人の方とたくさん話してみると、面白い発見があると思いますよ。



春、桜が咲いてピンクになって美しい。

夏、木や山が緑になって美しい。

秋、緑の葉が黄色や赤になって美しい。

冬、雪が降って周りが白くなって美しい。

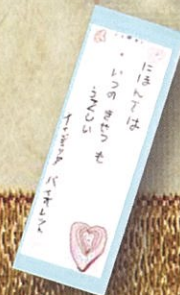
清少納言さんならに

日本の四季を詠んでくれたバイオレットさん。

季節がない国から来た方は、日本の季節の移り変わりに驚き、

美しいと思う方も多いようです。

日本の季節を日本人と一緒に楽しみたいですね。



2017年11月放送分

中国餃子専門店を営む嘉玲さん。
本場中国では、各家庭で皮から手作りするのが一般的。
食材も家庭ごとに違い、まさにおふくろの味。
日本のおにぎりに近いものがあるようです。

国の食文化を伝えようと、お店を出している外国人の方も
地域に沢山いらっしゃいます。

思いの詰まった料理を食べに行ってみませんか？



持ち帰り
かりんの餃子
日本一
中国 石川嘉玲

もちかえり
かりんのギョウザ
にほんいち

石川嘉玲さん 中国

スキーして
すいすいごろん
どうしよう

黒田香織さん タイ・日本

多様化社会と言われていますが、大人の世界だけではなく、
子供たちも多様化していると思います。
そんな多様性を楽しみたいと思います。

スキーして
どうしよう
タイ 日本 黒田香織

屋台文化のあるタイでは、家庭で料理するより
お店で済ませることのほうが多いようです。
日本で家族のために台所で奮闘するナッチャーさんの作品。

食文化の違いは本当に楽しいですね。羨ましいと思うことも。
近くの外国人の方と食文化の話をしてみたいはかがでしょうか。

みみとおい
からだがかわい
なんのこと？

石川ヴィルジリーさん フィリピン



耳が遠い→え？なら電話を耳につけてくださいよ
体がこわい*→え？あなたの体に悪魔がいますか？
本人は至って真面目ですが、このやり取りは
お腹痛くなりますね。*体がこわい：栃木弁で「疲れた」の意味

簡単な言葉の組み合わせでも、意味が変わってしまう日本語。
そういった言葉は外国の方にはちょっと難しいようです。
確かにその通りです。近くの外国の方と、
日本語おもしろ話をしてみたいはかがでしょうか。

来日したばかりの時は、日本語を聞くのも話すのも一苦勞。
ゆっくり話しても分からないものは分からない。
そんな時は、言葉を言い換えてみて、
とリーさんからのお願いです。

日本語を勉強したといっても、生の会話はテキストとは
全く違うようです。
もし、笑ってごまかしている外国の方がいたら、是非、
やさしい日本語を使ってみてください。

やきざかな
けむりもうもう
たいへんだ

黒田ナッチャーさん タイ

きくたびに
わらうだけで
いえません

リーさん ベトナム

聞くたびに
笑うだけで
ええせん
ベトナム

2017年12月放送分

ふるさとへ
まっかなもみじ
てみやげに

セイコウさん マレーシア

季節によって味わいも彩りも多様な日本。
マレーシアには日本のような季節感はないそうですが、
他民族国家なので聞こえてくる言葉も音楽も、
佇まいや漂う食べ物の香りもハーモニー豊かだそうです。

日本人が当たり前と思っている季節も、外国の方にとっては
素敵なことだと感じてくださっているようです。
一緒に改めて季節を味わってみるのはどうでしょうか。



フーフー。ズズズズッ。プハー。
ベトナムでは、食事中音を立てるのはマナー違反。
初めての日本のラーメン店で耳にした音は、
奇妙で奇怪なものだったようです。

外国と日本の文化や習慣が違うことは知っていますが、
食べ方など細かいことは気付かないこともありますね。
近くの外国人の方と話してみたいかがでしょうか。

ふるさとへ
真赤な紅葉
手土産に

ラーメンをたべて
うどんをたべて
おどろいた

トゥオンさん ベトナム

ラーメンと
うどんをたべて
おどろいた

バイト先で若者と同じように働くお年寄りを見て
尊敬のまなざしのプリエンカさん。
この元気なお年寄りの存在が
日本が先進国たる証とお考えのようです。

日本のお年寄りは元気に見えるそうですね。
「ひとりで何でもできる」というイメージのようですが、
家族と一緒に住んでいる外国の皆さんも、ちょっと
羨ましい気もします。
是非、近くの外国人と話してみたいかがでしょうか。



おとしより
しごとをやつて
おどろいた

プリエンカさん ネパール

おとしより
しごとをやつて
おどろいた

長い間会えなくなる人には「さよなら」。
明日また会える人なら「さよなら」は言わなくていい。
留学する前、家族と交わした「さよなら」を胸に
今日も頑張るカビタさんでした。

外国から来て、夢を叶えるために頑張っている人達がいいます。
近くの外国の方と、じっくり話してみたいかがでしょうか。
応援したくなると思いますよ。

このままで
そつとさよなら
それもいい

カビタさん ネパール

このままで
そつとさよなら
それもいい

2018 年 1 月放送分

電車が時間通りに来る。書類が時間通りに揃う。
ジャニタビアンさんには、
この日本の時間の正確さが性に合うようです。

日本の時間の厳しさは時々窮屈に感じますが、
外国人の方にとっては「素晴らしい」と感じることもあるようです。

「いい・悪い」ではありませんが、別の視点で
自分の文化を見ることが大切なのかもしれません。

にほんじん
じかんをまもる
すばらしい

ジャニタビアンさん スリランカ

にほんじん
じかんをまもる
すばらしい



携帯電話を置きっぱなしにしたり、
財布をなくしたりと災難続きのチャナカさん。
そのたび無事に手元に戻るミラクルに感謝。
でも、なくさないのが一番ですよ。

世界の中でも、日本のこういった話はとても有名ですね。

日本のいいところ、見習いたいところと言われます。

是非、守っていきたいと思っています。

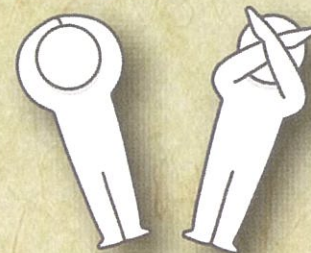
にほんじん
しょうぎだから
おそれない

チャナカさん スリランカ



真面目に働く。適当に働く。
時間を守って働く。時間に縛られずに働く。
う〜ん、どちらも一長一短。
どちらかひとつを選ぶのは難しいですね。

真面目さや時間を守ることは日本人のよさでもあります、
外国人の方から日本人の真面目さや時間を守るということに
ついて聞いてみるのも面白いのではないのでしょうか。
「どっちもいい」が答えかもしれませんね。



あたりまえ
そとからみれば
ありがたい

行本大誠さん ブラジル

蛇口をひねれば飲み水が出る、そんな当たり前も
外国から見たらとても珍しくありがたい。
日本人が気付いていない日本を教えてくれる
人たちが気がつけばすぐ隣にいます。

日本人と外国人と区別するのは
もう時代遅れなのかもしれません。

隣にいる外国人の方と同じ住民として
お互い気持ちよく暮らしていきたいですね。

にほんじん
じかんをまもる
すばらしい

ロックさん ベトナム

にほんじん
じかんをまもる
すばらしい

ラジオに出演された方以外にもたくさんの外国人の皆さんが

川柳を詠んでくれました。感謝とともに一挙にご紹介！！

食べ物編

食べ物は人類共通の話題ですね。

日本ならではの食材にチャレンジしたり、季節ならではの果物に舌鼓を打ったり。そんな川柳を集めました。

おかあさん せっけんじゃないよ おもちだよ (ジョシーさん フィリピン)

なつがきた すいかがあると こころよい (ファム ティ ツー ヒエンさん ベトナム)

だんなさん かったおかずで まんぞくだ (チョウさん 中国)

なつのもも あまいしんせん しあわせだ (ウインさん ミャンマー)



風景編

思い出を写真に収めるように、心に残る日本の風景を詠んだ川柳たち。ふとした日常の中にも、目に焼きついて忘れられない景色があるようですね。

いちにちで かわるおてんき いそがしい (ドゥンさん ベトナム)

おんなのこ かみがたとても かわいいです (シャナカさん スリランカ)

あさひみて つかれふきとぶ しんぶんはいたつ (ジャムールさん シリア)

うごかずに いねむりできる にほんじん (ブラーウさん タイ)

にほんでは やまのけしきが うつくしい (グエン コック フイさん ベトナム)

なつがきた おんなのふくが みじかくなる (サヴンディカさん スリランカ)



文化編

社会の仕組みや、なんてことない街並も、日本らしさに基づくものがたくさんあるようです。異文化体験談、集めてみました。

あついとき ラジオたいそう なんでもかな (バさん ベトナム)

にほんでは じどうはんばいき おもしろい (ウイケラ アラチチゲ シャシラ ウナス チャットランガさん スリランカ)

にほんでは かいものすると ぜいきんかかる (アレ ニルマラさん ネパール)

にほんでは じてんしゃのるのは おもしろい (ギリ ランジタさん フィリピン)

にほんじん おんせんさんど はいります (スサンタさん ネパール)

にほんには にほんごきょうしつ いっぱいね (レーさん ベトナム)



対人編

個人差はあると思いますが、外国の方には日本人ってこう見えるようです。「そうでしょ?」も「そうかな?」も含めて、リアルな視線を受け止めたいですね。

にほんじん いつでもみんなに ていねいだ (グエン ダック タンさん ベトナム)

かくすより はっきりいってよ いたいこと (ハリさん ネパール)

にほんじん きちようめんで すばらしい (グ ミン チャウさん ベトナム)

だいじょうぶ いいかわるいか わからない (ホセインさん イラン)

にほんごで かいてもらって いいですか (チャンドラセーダ ジョヤタナ アダヤンセーダ コーラ ミヒラ バンダーラ チャンダラセーダさん スリランカ)

アルバイト みんなのおかげ ありがとう (ベレーラ ハラワタゲ フランク アペーン ササンカさん スリランカ)



望郷編

故郷から遠く離れた日本の生活。少し立ち止まって、ひとりしんみりすることもあるようです。ときどきは心細くもなりますよね、人間なもの。

パスポート おれのせいかつ へんかした (ニマンタさん スリランカ)

しずかだな クラクションおん なつかしい (トーさん ベトナム)

がんばれと ききたいこえが きこえない (風鈴さん ベトナム)

おやにあう あのこきょうへ かえろうかな (トウンさん ミャンマー)



番外編

日本人とか外国人とか、国境とか国籍とか、そんな枠を飛び越えた、人類共通の命題に挑ぶような哲学川柳。膝を叩かずにはられません！



すきですと いったらそくどう ごめんなさい (リンさん ベトナム)

たべられれば おんなのひとは なんでもいい (ウェヤンさん スリランカ)

じんせいは あきらめると うまくいく (アチニさん スリランカ)

たくさんのご応募、ありがとうございました！！

外国人川柳『にほんご・しち・ご』いかがでしたか？

ここでご紹介した川柳は、ご本人がラジオ番組に出演し、その背景や気持ちを思う存分語っていただきました。

平成 28～29 年度のもの YouTube でもご覧いただけます。

PC、スマホ等で [にほんご・しち・ご](#) とご検索ください。

《平成 29 年度 文化庁委託事業 運営委員》

梅木 由美子 (宇都宮大学留学生・国際交流センター元教授)

小林 忠教 (栃木県国際交流協会事務局長)

齋藤 禎 (栃木県社会福祉協議会地域福祉部長)

坂本 文子 (宇都宮大学地域デザイン科学部附属地域デザインセンター)

Sueyoshi Ana (宇都宮大学国際学部准教授)

鈴木 美恵子 (NPO 栃木タイムズ)

結城 史隆 (白鷗大学教育学部教授)

行本 リジア (鹿沼市国際交流協会)

(50 音順)

Special Thanks !!

岡本明子
レディオベリー
(番組編集担当)

堀部俊夫
(株)アドホリック
(広告代理店)

細野隆
真岡青年会議所

冊子制作 日吉達也

平成 30 年 3 月発行 初版 第 1 刷